

労働衛生専門部会 労働衛生管理活動分科会

会場名 電気ホール／福岡市中央区渡辺通 2-1-82

最寄駅 西鉄大牟田線「薬院」駅／西鉄バス「渡辺通 1 丁目」(5 ページ交通案内⑩)

10月24日(木)のプログラム

9:30 開始

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1 介護担当者の健康保持対策 | 介護施設介護担当者の健康保持の現状を調査した。腰痛や外傷が多いこと、感染症対策が不十分なことが分かり、メンタルヘルスケアの必要性も示唆された。 |
| 労働福祉事業団
長野産業保健推進センター所長 | 田口喜一郎 |
| 9:55 | |
| 2 産業医意見に基づく就業制限制度の活用 | 従来から行っている就業上の措置が、より適切かつ有効に活用できるように見直した。今回は、その後の効果や新たな課題などを報告する。 |
| トヨタ自動車(株)安全衛生推進部
健康推進室一般 | 盛定 弘志 |
| 10:20 | |
| 3 職場巡回での工夫と実践 | 少人数、分散化された営業所に向け、職場環境の改善と、コミュニケーションを密にするとの目標を持ち、より積極的な職場巡回を実施したので報告する。 |
| (株)NTT 西日本
東海健康管理センタ看護部 | 宮崎由紀子 |
| (10:45~10:55 休憩) 10:55 | |
| 4 γ -GTP 再検査者への保健指導の評価 | H12年度 γ -GTP再検査者を実施した保健指導および健康教育の効果について、H13年度追跡可能な123人の評価について報告する。 |
| (株)九電工鹿兒島支店
総務・人事グループ | 東園 弘子 |
| 11:20 | |

特別報告 保護具選定のための個人ばく露測定事例

中災防中国四国安全衛生サービスセンター主任技術員 東久保一郎

(12:00~13:00 昼休み (12:30~12:50 安全・衛生・快適考案部門金賞作品ビデオ上映)) 13:00

講演 職域におけるシックハウス対策

中災防労働衛生調査分析センター所長 櫻井 治彦

(14:10~14:20 休憩) 14:20

- | | |
|--------------------------------|---|
| 5 海外勤務者のための FAX による医療相談 | 1994年から開始した海外勤務者のための FAX による医療相談について、その内容を検討し、どのような医療情報が必要とされているか紹介し今後の課題を示す。 |
| 労働福祉事業団
海外勤務健康管理センター研究情報部医長 | 津久井 要 |
| 14:45 | |
| 6 鋳造工場における環境対策 | 鋳造工場における過去の災害は、暗くて汚い作業環境(砂・粉じん)が誘発していた。我々は鋳造の常識を打破すべき職場風土改革に現場一丸となって進めた。 |
| トヨタ自動車(株)明知工場
鋳造部担当員 | 木崎 勉 |
| (15:10~15:20 休憩) 15:20 | |

労働衛生専門部会 労働衛生管理活動分科会

15:20

シンポジウム 衛生管理者活動活性化のためのネットワークづくり

講師	(財)和歌山健康センター事務局長 日本ビクター(株)人事総務部安全健康管理センター副参事 日本化学繊維協会技術グループ主席部員	生田善太郎 椎野 恭司 野原誠一郎
助言者	麻布大学環境保健学部教授	中明 賢二
司会	中災防技術支援部長	小野 宏逸

17:00 終了

※引き続き、ホテルニューオータニ博多にて「第17回全国衛生管理者情報交流会」を行います。当日受付も行っています。詳しくは30ページをご覧ください。

10月25日(金)のプログラム

9:30 開始

- 7 職場全体の健康増進のために
- 柏郵便局総務課課長代理 今村ひろみ
- 9:55
- 8 ダストランプ法によるエアロゾルの観察
- 労働福祉事業団神奈川産業保健推進センター
産業保健相談員 芦田 敏文
- 10:20
- 職員の健康管理意識高揚と欠務日数を減少するために、健康診断結果分析表や各種関連資料を作成・活用して、職場全体の健康増進を図ったものである。
- チンダル現象を利用して、肉眼で認識しにくいエアロゾルを簡便な方法で可視化して作業管理に有効な手段を提供することを目的とした。

特別報告 粉じん障害防止モデル事業を実施して

タニコー(株)生産統轄本部福島原町工場総務部総務課係長 鈴木 篤夫

(10:50~11:00 休憩) 11:00

- 9 皮膚炎・上肢痛への取組みから学んだこと
- トヨタ自動車北海道株
経営管理部総務人事室保健師 工藤 素子
- 11:25
- 10 多職種産業保健スタッフのネットワーキング
- さんば会(産業保健研究会)
ライオン(株)人事部健康管理室保健師 高橋 由桂
- 11:50
- 11 工場全体で取り組んだアルコール対策の効果
- 日産自動車健康保険組合
栃木地区健康推進センター保健師 渡邊 栄子
- 「処置中心」であった従来の皮膚炎・上肢痛対策を見直し、現地現物を基本とする「再発防止を目的とした職場へ出ての活動」を展開したので紹介する。
- 産業保健活動には、それに関わる多職種の産業保健担当者らが一体になったチームワークが不可欠である。今回多職種が集まる研究会について報告する。
- 従業員数の増加に伴う生活習慣病対策として工場全体でアルコール対策チームを作って宴会の大幅な見直しに取り組んだ結果、著明な改善効果が得られた。

(12:15~13:30 昼休み (13:00~13:20 安全・衛生・快適考案部門金賞作品ビデオ上映)) 13:30

労働衛生専門部会 労働衛生管理活動分科会

13 : 30

シンポジウム VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドラインへの対応と課題

講 師	独立行政法人産業医学総合研究所企画調整部長	齊藤 進
	UFJ 銀行東京本部健康管理センター所長	埋忠 洋一
	富士通㈱健康推進部主管研究員	落合 孝則
	新日本製鐵㈱人事・労政部安全健康グループマネジャー	平井 和盛
助言者	厚生労働省安全衛生部労働衛生課長	上田 博三
司 会	中災防技術支援部次長	今泉敬七郎

15 : 30 終了

中災防の**安全衛生図書・用品**を**1割引**で即売

全国産業安全衛生大会福岡大会では、中災防発行・制作の安全衛生図書・用品・記念品を定価の1割引で即売いたします。即売は下記の会場を予定しております。

- マリンメッセ福岡 [総合集会：10月23日(水)]
- 福岡市民会館 [安全管理活動：10月24日(木)～25日(金)]
- 電気ホール [労働衛生管理活動：10月24日(木)～25日(金)]
- アクロス福岡シンフォニーホール [マネジメントシステム：10月24日(木)～25日(金)]
- アクロス福岡イベントホール [ヒューマンファクター：10月24日(木)～25日(金)]
- メルパメルクホール福岡 [ゼロ災運動：10月24日(木)・交通：10月25日(金)]
- 福岡サンパレス [健康づくり：10月24日(木)・メンタルヘルス10月25日(金)]
- 福岡国際センター [緑十字展：10月23日(水)～25日(金)]

労働衛生専門部会 健康づくり分科会

会場名 福岡サンパレス／福岡市博多区築港本町 2-1

最寄駅 西鉄バス「石城町(国際センター入口)」「博多駅から」、「博多埠頭入口(天神駅から)」「(3 ページ交通案内⑩)」

10月24日(木)のプログラム (この日のみの開催)

コメンテーター	九州電力(株)本店産業医	山村 譲
9:15 開始		
1 職域における高脂血症の小集団教育の効果	当健康管理センターにおいて、医師および看護職による独自の高脂血症教育を行い、追跡調査を実施した。その結果、教育効果の有効性が示唆された。	
西日本鉄道(株) 健康管理センター保健師	北園みゆき	
9:40		
2 食べながら学ぶ栄養指導、「食事体験学習」	食品の摂取エネルギーや食塩量、栄養のバランスを考えた弁当を使って行う、体験型の栄養指導「食事体験学習」について、15年間を振り返り、紹介する。	
(財)九州健康総合センター 健康管理グループ係長	三幣 洋子	
10:05		
3 BOOCS 法による肥満指導	従来の肥満指導は限界が多かった。今回、食べることを楽しませながら減量できるユニークな BOOCS 理論による肥満指導で著しい減量効果を見とめた。	
旭化成(株)水島支社 健康管理センターセンター長	有道 徳	
(10:30~10:40 休憩) 10:40		
4 新津車両製作所における健康づくりの取り組み	社員が健康で楽しく仕事をするには、衛生担当として何ができるか考え、健康管理部門と連携して効果的な健康づくりに取り組んだ。	
東日本旅客鉄道(株)新津車両製作所 計画部総務課主席	渡部 勉	
11:05		
5 全社的な禁煙支援活動の展開	喫煙率の低減を目的として、当社における安全健康活動方針に「禁煙支援活動の展開」を挙げ、全社的に展開した取り組みを報告する。	
東京ガス(株) 健康開発センター保健師	前田 伸子	
11:30		
特別報告 企業内健康づくり事業の経済的評価について (委員会中間報告)		
北里大学医療衛生学部教授 中村 賢		
(11:50~12:50 昼休み) 12:50		
コメンテーター	産業医科大学作業病態学研究室講師	古木 勝也
12:50		
6 所内ホームページを活用した健康支援の試み	減量・禁煙挑戦者を募り健康コンテストを開催した。挑戦者の抱負、支援者のコメントおよび経過をホームページに開示し支援を拡げた。成果について発表する。	
新日本製鐵(株)大分製鐵所 健康管理センター保健師	津田 由美	
13:15		
7 寮居住者への健康サポートを考える	単身赴任者や独身寮居住者の生活習慣を調査し把握した。それに基づいて効果的かつ具体的な支援方法を検討し、小冊子を作成し配布した。	
東日本旅客鉄道(株)中央保健管理所 看護室保健師	及川 幸子	
13:40		

労働衛生専門部会 健康づくり分科会

13:40

8 総合健診活動におけるパートナーシップ

(財)淳風会健康管理センター 渉外課 稲岡 美穂

(14:05~14:15 休憩) 14:15

顧客ニーズ対応として渉外課に初めて女性スタッフを配置し、事業所の健康づくり応援団として、知識と経験を活かした健康づくり提案、方法、考察を行う。

9 若々しく健康で働けるためのサポートプラン

トヨタ自動車株元町工場
工務部安全衛生グループ一般 福島 奈美

14:40

高脂血症等の経過観察者が増加傾向にある。そこで健常者に対して生活習慣上の問題点を特定できるツールを開発し、改善指導に活用できるようにした。

10 当事業所における健康づくりの取り組み

原子燃料工業株熊取事業所
業務管理部安全衛生担当課長 山口 政雄

(15:05~15:15 休憩) 15:15

昭和62年からの健康づくり活動で、平成7年から継続しているウォーキングチャレンジや、健診後の事後処理等小規模事業場の工夫で成果を得た発表を行う。

てい談 魅力ある産業保健チームを目指してーチームビルディングを考えるー

講師 (社)日本労働安全衛生コンサルタント会会長 庄司 榮徳
産業医科大学産業保健経済学研究室講師 ジェン ドゥーソップ
司会 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学教室講師 橋本 英樹

17:00 終了

※引き続き福岡サンパレスホテルにおいて「THP・健康づくり指導者全国交流会」を行います。当日受付も行っていきます。詳しくは、30 ページをご覧ください。

労働衛生専門部会 メンタルヘルス分科会

会場名 福岡サンパレス／福岡市博多区築港本町2-1

最寄駅 西鉄バス「石城町(国際センター入口)」「博多駅から」「博多埠頭入口」「天神駅から」(3ページ交通案内⑩)

10月25日(金)のプログラム (この日のみの開催)

コメンテーター 長崎純心大学人文学部人間心理学科教授 児島 達美

10:00 開始

1 メンタルヘルス出前講座から生き生きライフへ

藤沢薬品工業株富士工場総務部看護師 小牧 榮里子

10:25

全従業員対象に「メンタルヘルス出前講座」を継続的に実施し、人的側面からのサポート「生き生きライフ」カウンセリングに繋げた活動を紹介する。

2 リスナー研修における意義と効果について

古河電工健康保険組合主任 伊藤 美季

10:50

当組合では平成7年より社内でのリスナー研修を実施しているが、今回いままで受講した従業員へのアンケートから研修会への意義と効果の検討を試みた。

(25)

労働衛生専門部会 メンタルヘルス分科会

		10:50
3	メンタルヘルスケア充実に向けての取り組み 全豊田安全衛生研究会健康管理部会 ㈱デンソー健康管理部室長	トヨタグループ13社が健康管理部会を設け活動を展開している。今回、部会としてメンタルヘルスケア充実に向けて取り組んだ活動事例を紹介する。
	武内 良和	
		11:15
4	職場での取り組みを重視したメンタルヘルス活動 東邦ガス㈱ 人事部安全健康グループ副課長	メンタルヘルス対策は職場の取り組みが重要であるとの観点から、活動指針や推進体制を整備し、相談体制・教育等の充実を図ったので、その内容を紹介する。
	世古 貴章	
		(11:40~12:40 昼休み) 12:40
	コメンテーター	産業医科大学客員教授 高田 和美
		12:40
5	メンタルヘルス対策・わが社の場合 本田技研工業㈱鈴鹿製作所 健康管理センター主任	近年、特に幅広い角度から心の保持増進へのニーズが高まる中でわが社で取り組んでいる「こころの健康づくり」推進支援活動を紹介する。
	富田 久代	
		13:05
6	当室におけるメンタルヘルス対策について 四国郵政局医務室保健師	健診での面談をきっかけにメンタルヘルス相談室の活用を勧め、心の不調の早期対策に努めた。また、職員の復職前後における支援を充実させた。
	井ノ口律子	
		13:30
7	メンタルヘルス対策の地域ネットワークづくり 労働福祉事業団福岡産業保健推進センター 産業保健相談員	職場のメンタルヘルス対策を支援するために、産業保健担当者と事業場外資源との連絡網を作り、両者のニーズや労働者のストレス、受診行動等を分析した。
	永田 頌史	
		(13:55~14:05 休憩) 14:05
講演 職場メンタルヘルスケアのあり方を探る		
	講師 大阪樟蔭女子大学人間科学部心理学科教授	夏目 誠
	司会 産業医科大学精神保健学研究室教授	永田 頌史
15:35 終了		

産業医科大学で教壇に立つ著者が、産業保健マーケティングなる概念を新たに提案。

産業保健 マーケティング

—働く人の健康資源を企業戦略的に確保するための考え方と進め方—

●ジャン・ドゥーソップ 著 ●B5判 174頁 ●定価:本体2,000円+税

お申し込み・お問い合わせ... 中央労働災害防止協会 普及事業部業務管理課まで ホームページアドレス
TEL03-3452-6401 FAX03-3452-2480 <http://www.jisha.or.jp/>

労働衛生専門部会 化学物質管理分科会

会場名 パピヨン 24 ガスホール／福岡市博多区千代 1-17-1

最寄駅 地下鉄「千代県庁口」駅／西鉄バス「千代町」(3 ページ交通案内⑤)

10月24日(木)のプログラム (この日のみの開催)

9:30 開始

- | | | | |
|---|--|-------|---|
| 1 | 神奈川県下事業場における MSDS の利用状況
労働福祉事業団神奈川産業保健推進センター
産業保健相談員 | 杉森 裕樹 | 神奈川県下 193 事業場を対象に MSDS の利用状況および作業員への周知徹底方法についてアンケート調査した。産保センターの支援についても考察した。 |
| 2 | 化学物質リスクアセスメントの新手法
ソニー(株)コーポレート総務部
安全企画係長 | 内藤 博光 | 化学物質リスクアセスメントの新しいロジックを提案し、新規物質の申請・審査および環境管理までを統合した化学物質管理システムを構築した。 |
| 3 | 製造元と連携した接触性皮膚炎改善の取組み
松下冷機(株)冷熱部品事業部
コイルグループ製造課主任 | 建部 治男 | 作業員に揮発油が原因と思われる皮膚障害が発生した。因果関係を明らかにするためアンケート調査を実施、また製造元に安全性確認を依頼した。 |
| 4 | 半導体使用化学物質の安全管理強化事例
九州日本電気(株)
安全環境管理 C 主任 | 竹下 雄一 | 新規化学物質の事前評価制度、MSDS 登録・閲覧システム構築や購入量の変動解析による傾向管理等で化学物質管理強化に有効な手法確立の事例紹介。 |

10:20

10:45

(11:10~11:20 休憩) 11:20

特別報告 実践！化学物質のリスクアセスメント—英国の現状から—

中災防技術支援部化学物質管理支援センター課長補佐 齊藤 信吾

(12:00~13:10 昼休み) 13:10

講演 これからの化学物質管理—有害性評価の諸問題—

慶應義塾大学衛生学教室教授・医学博士 大前 和幸

(14:00~14:10 休憩) 14:10

シンポジウム 化学物質の自主管理のための環境整備に係る課題

講師	旭硝子(株)化学品カンパニー環境安全室主幹	法月 利光
	東京応化工業(株)阿蘇工場検査室技師	山下 陽介
	三井化学(株)袖ヶ浦センター健康管理室長・医学博士	伊東 一郎
	近畿大学法学部助教授	三柴 丈典
	住友化学工業(株)レスポンシブル・ケア室環境・安全部長	岡 古
司会	中災防技術支援部化学物質管理支援センター所長	石野 育郎

(15:30~15:40 休憩) 15:40

講演 心豊かに生きる

南蔵院住職 林 覚乗

16:40 終了

(27)

平成 14 年度工夫・改善・活動事例コンクール作品発表

(安全・衛生・快適考案部門金賞作品)

機械・設備等の安全分科会 (10月25日(金)) 11:00~12:20 都久志会館)

11:00

安全・衛生・快適考案部門金賞作品ビデオ上映

11:20

トラック積み込み作業用転落防止装置

大和ハウス工業(株)奈良工場住宅生産管理課主任

松田 誠樹

トラックへ荷(建築材等)を積み込む際、荷締め作業やシート養生作業を荷台上で行うため、転落災害が発生する危険があった。そこで、ハーネス型安全帯を着用し、前後の動きはハンガーローラーで、上下の動きは安全ブロックで作業者の移動に追従できる転落防止装置を考案した。さらに、本考案品を使用した荷の積み込み作業の実施手順を作業者に徹底することにより、転落災害の防止に繋がっている。

11:40

斜面形状ワークの締めつけ用治具

トヨタ自動車(株)本社工場シャシー製造部プレス課 EX (エキスパート)

穴井 清司

斜面形状の加工物(ワーク)を切削加工する際、従来は、クサビなどを使ってバイスで固定していたが、片効きの締め付けになりやすいため、加工中にワークが外れ、切削刃の破損やワークの飛散による災害のおそれがあった。そこで、半円の面を利用した自由に角度が設定できる治具を考案し、斜面形状のワークであっても確実に固定して加工できるようにした。この治具を使うことで、切削加工の安全性が向上するとともに、段取時間の短縮を図ることができた。

12:00

ペンシル型小型面取り工具

(株)デンソー西尾製作所冷暖房製造2部型課 SX (シニアエキスパート)

小田 幸市

エアコン用樹脂ケースの金型を製作する際に、リップ成形部の溝のコーナー部分を面取り加工する作業を行う。この作業ではベビーグラインダーを使用するが、カッターがむき出しであるため手を切ったり、切粉が飛散して目に入る等の危険があった。そこで、ベビーグラインダーに取り付ける鉛筆キャップ様のガイド付き小型防護カバーを考案した。このカバーにより、ベビーグラインダーの刃が防護され、また切粉の飛散を防止できるようになった。

12:20

(安全衛生活動部門優良賞作品)

安全管理活動分科会 (10月24日(木)) 13:00~13:50 福岡市民会館)

13:00

管理監督者会社間相互安全研修

トヨタカ電気(株)福山支店安全衛生部室長

永田 眞治

本活動は、同一業種の会社が共同で管理監督者の安全活動のための交流研修会を実施したものである。両社の管理者がペアとなって、また作業責任者は相手側の作業者となって、互いの作業現場において作業指示、現場安全活動等の体験研修を行い、その体験から得られた成果の発表を行った。この活動により相互に刺激を受け、両社の管理監督者がそれぞれが相手側の長所を取り入れ、積極的に安全活動に取り組むようになった。

13:25

楽々改善コンテストによる職場小改善活動の推進

住友金属工業(株)鹿島製鉄所総務部安全健康室スタッフ
鈴木 雄一

本事業場では、年々進む作業者の高齢化に対応するため、平成7年から「仕事のしやすさ、やりやすさを追及し、安全及び健康に係る小改善を推進し、快適職場の形成を図る」ことを目的としたコンテストを実施している。「仕事のしにくさ」を基準とした改善チェックリストに基づき、改善対象案件をリストアップして改善を行い、審査・表彰するものである。この活動によって、現場作業者の改善意識が高揚し、改善件数が年々増加し、また改善事例集の配布により水平展開が図られている。

快適職場フォーラム 2002

入場無料

＝快適職場づくり 10 周年記念フォーラム＝

快適職場フォーラムでは快適職場づくりに取り組む事業場の紹介や、これからの働きやすい職場についてのシンポジウムを行います。また、快適職場づくり展として改善事例の展示と体験コーナー、モデル喫煙コーナー、快適 VDT 作業などを予定しています。

みなさんのご来場をお待ちしています。

10月24日(木) 9:30～16:30 エルガーラホール

西鉄福岡駅から徒歩3分、
地下鉄天神駅から徒歩5分

プログラム

- 9:50 **事例発表** ……「我が社の快適職場のすすめ方」
 (株)ノリタケスーパーアブレーション理事 重金 敏一
 「快適職場への取り組み」
 (株)竹中土木九州支店作業所事務センター事務課長 渡辺 正喜
 「快適職場をめざして」
 (株)タチ製作所総務部長 伊藤 耕二
- 11:00 **シンポジウム** ……10周年記念シンポジウム 「未来を創造する快適職場」
- 13:30 **講演** ……「職場における喫煙対策」 産業医科大学助教授 大和 浩
- 14:30 **ミニコンサート** ……潤いのひととき
 黒坂黒太郎コカリナコンサート
- 15:10 **特別講演** ……千葉商科大学政策情報学部助教授
 宮崎 緑

快適職場づくり展

改善事例の紹介と体験コーナー・モデル喫煙コーナー・
 相談コーナー・事例検索コーナー・
 ほっと一息コーナーではみなさんの疲れを癒します。



●お問い合わせ 中央快適職場推進センター TEL: 03-3452-6396・6406
 E-mail: kaiteki@jisha.or.jp